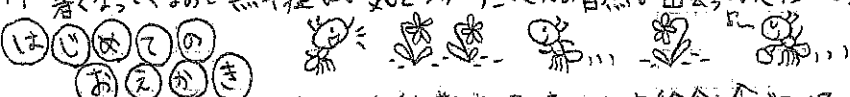


しいの実・たんぽぽ・みず クラスだより

2025.5.30.円町まぶね隣保園

保育園の新しい環境にも慣れ、日々の活動も楽しめるようになってきました。もうすぐ梅雨の時期に入ります。雨の日でも子どもたちと元気いっぱい過ごしながら、この時期ならではの自然やあそびをみんなで楽しめたらいいなと思います。また日によっては暑い日もあるので、水分もしっかり摂りながら元気に過ごしていきます。

5月も天気の良い日はたくさんお散歩に出掛けました。4月はバギーに乗ってのゆったり散歩を中心に楽しんできましたが、5月は散歩先で靴下をはいて降りる経験をしました。初めは砂や砂利の感触が苦手な子どもが多かったのですが、少しずつ慣れてアリやダンゴ虫を見つけたり、草を角虫したり、周りの自然に目を向けて楽しんでます。保育者がたんぽぽの綿毛を「ふう〜」と吹くと、こっと笑顔を見せてくれる様子もありました。暑くなってくるので熱中症には気を付けてたくさん自然に出会ってほしいです。



ペンがにぎれる子どもは初めてお絵描きをしました。いつも給食を食べている机と椅子に座り、好きな色を選んで画用紙にお絵描きをしました。ほとんどの子どもは描くことよりも初めて触るペンに興味津々！ペンをじーっと見つめたり、口に入れようとしていたり... しいの実組の子どもたちらしい姿がありました。画用紙に色がつくと不思議そうな表情の子どももいました。

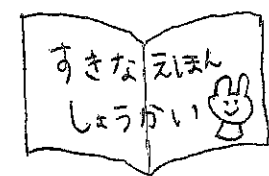
来月のお絵描きはどんな姿が見られるのか楽しみです。



小さいうちは生活リズムが身につくまで、ミルクや給食をしっかり食べ(飲む)こと、まとまってお昼寝ができるようになってきています。

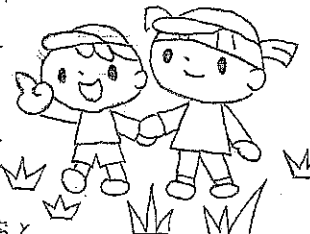
「お腹が空いた」「眠い」の欲求が満たされることで気持ちもおだやかに過ごしています。その中で好きなあそびを見つけたリ、保育者とふれあったり、お友だちに近付いて関わり合ったりと、可愛い姿がたくさん見られるようになってきました。1年を通してしいの実組では、毎日の生活リズム(食事、睡眠、排泄)を大切に過ごしていきたいと思っています。

「だるまさんが」お昼寝の前に絵本を見ています。「えほんみるよー」の声掛けに保育者の元に集まってくる子どもたち。中でも「だるまさんが」の絵本はみんなの反応が一番良いです。これからは二葉類が増えていきます。これからも色々な絵本の世界を楽しんでいきたいと思っています。



〈外遊び・散歩〉

今月もいっぱい外に行き遊ぶことが出来ました。園庭や散歩で何かを見つけると「あ！」と手を引いて教えてくれます。近くまで行ってからじーっと見守る子どもたちです。保育者が生き物(主に虫)を持ってくると興味津々ですが、触るのはちょっと怖いみたいで、遠くから見守ろうとしていました。保育者と順番に手を繋いで歩く中でしっかりこちらの手を握り返してくれるようになりました。細い路地や比較的安全なところで友だちと手を繋いで歩いています。しかし、まだとっさに手を離れてしまうことがあるので、「ぎゅっ!やで〜」と声をかけながら様子を見ています。散歩カーを使って遠出をすることもあるので、これからも色々な場所に行き、安全に気をつけながら子どもたちと色々な発見が出来るといいなと思います。



〈室内あそび・人形・絵本〉

おうちの人が作ってもらった人形が子どもたちもとても嬉しかったようです。室内あそびの時や昼寝の時には自分の近くに持ってきて抱えています。心のよりどころとしているようです。人形と共にごっこあそびをするという姿はまだ見られませんが、友だちや保育者とのやりとりが楽しくなってくると、ごっこの中でも一緒にあそぶということが出てくるかもしれません。人形を作っていただき、ありがとうございます。また、絵本も好きな子どもたちで簡単な言葉のくり返し(ぞろぞろ)であたり「ハクッ」、「もこもこ」など面白い言葉が出てくる本を好んでいます。少しずつ言葉も出てきている時なので、言葉への興味が出たり、集中力や想像力も膨らますことの出来る絵本はこれからもういくつか読んでいきたいなと思っています。おうちでも「こんな本よんでいる」というのがあれば、教えてもらえると嬉しいです。

園で読んでいる本
・ぞろぞろぞろ
・もこもこもこ
・だるまさん
・あつぽぽぽ
・はくしよーい
・シリーズ など

みずぐみ

〜子どもたちのピュアなエピソード〜

- 室内あそび中、下を向いて集中して何かをしている子どもたち。そ〜とのぞいてみると、フェルト(ごっこあそびでご飯に見立てあそぶおもちゃ)を手の指にはめていました。担任は「魔女みたいだね」と言ったのですが、反応がすごく薄く...しばらくして10本全ての指にはめ終えた子どもたちが、「おえみえ〜ちゅうりっぷみだい」と言っているのです。あまりにもピュアな発想に胸を撃ち抜かれました。「魔女とか言っても、ちゅうりっぷやな」と返すと、今度は「ゴゴゴ」そしてみんながちゅうりっぷの歌をうたいました。
- 暑くなってきたので、天上の扇風機を回しました。「見てね、回るよ〜」とスイッチを入ると、「うわ〜すごい」と言っていたそんなある日のこと。一人の子どもが、「おはけ!」と扇風機を指差して言い始めました。担任は「ん?」と思いましたが、話を聞くと、「おはけが扇風機を回している」という意味でした。それ以来、みずぐみの扇風機は、おはけが一生涯懸命回してくれているということになりました。



こうしてあそびや生活の中で、様々な見立てをしたり、イメージが広がるくらみ、どんなことばも増えてきています。

- 思いを伝えようと全身を使って表現したり、泣いたり突ったり、怒ったり叫んでみたり、毎日忙しい子どもたちですが、今はこの経験を繰り返しながら、たくさんのことばを獲得していく時期です。又、言い間違えもとてもかわいい時なので、楽しみながら寄り添っていきたいと思います。

